

# 第27期 決算説明会資料

---

2011年5月  
テクマトリックス株式会社

# 目次

---

---

- ① 2011年3月期（第27期）の実績
- ② 2012年3月期（第28期）の計画

## 〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

# 2011年3月期(27期) 実績

# ハイライト【連結】

## 売上の状況

■売上高: **15,202**百万円

■前年同期比: **106.7%**



■単体の売上高は**10,444**百万円(前期比**3.2%**減)、営業利益 **504**百万円(前期比**29.3%**減)

■未曾有の震災の中、**4Q**の受注は増加

■地方拠点が貢献。事業所別で東京、大阪、九州全てが黒字。仙台、名古屋が下期健闘

## 利益の状況

注: 事業年度統一のため、連結子会社5社の内3社は、15ヶ月分決算の取り込みを行っています。

■営業利益: **666**百万円

売上比率: **4.4%**(前年同期 **5.2%**)

■経常利益: **679**百万円

売上比率: **4.5%**(前年同期 **5.2%**)



■期末の納品予定が震災の影響を受け未達

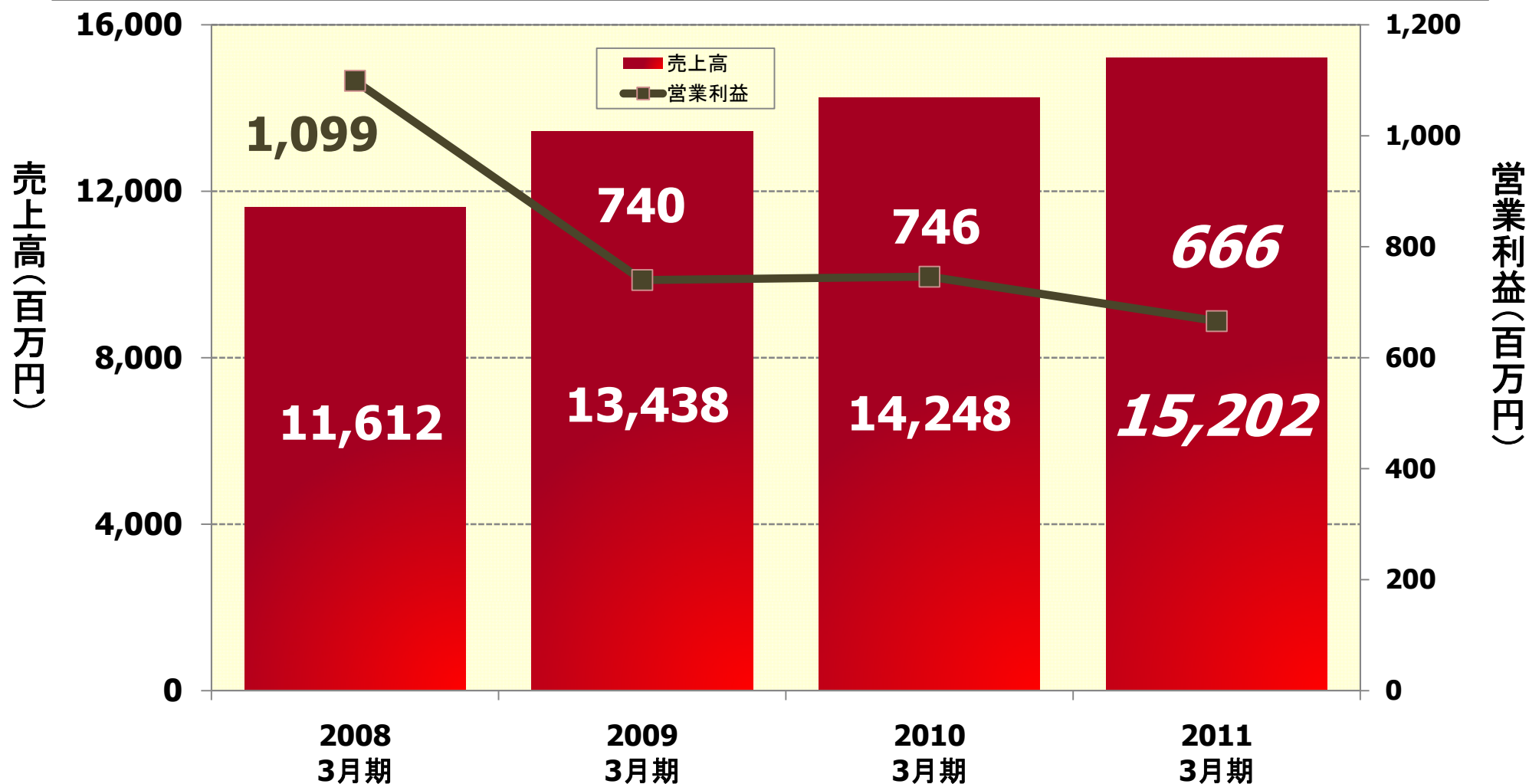
■情報基盤事業は売上・営業利益共に前期比増も、アプリケーション・サービス事業が赤字

■保守・運用関連子会社**3社**が好調で、利益も予定通り確保

■東京証券取引所市場第二部に上場

■グループ全体でクラウド型ビジネスの強化(**SaaS**、**HaaS**サービス開始)

# 業績の推移【連結】



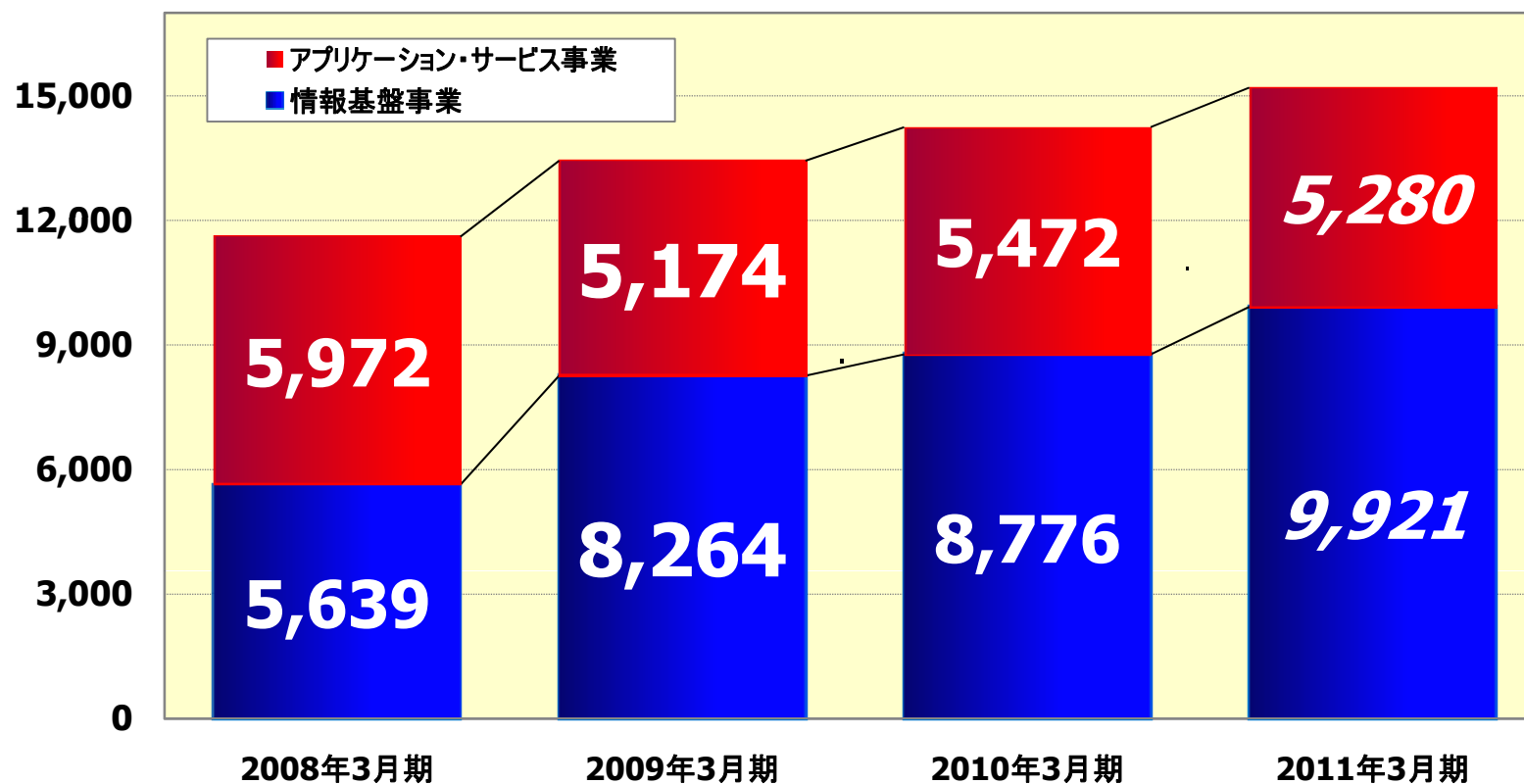
## 四半期業績の推移【連結】

(単位:百万円)

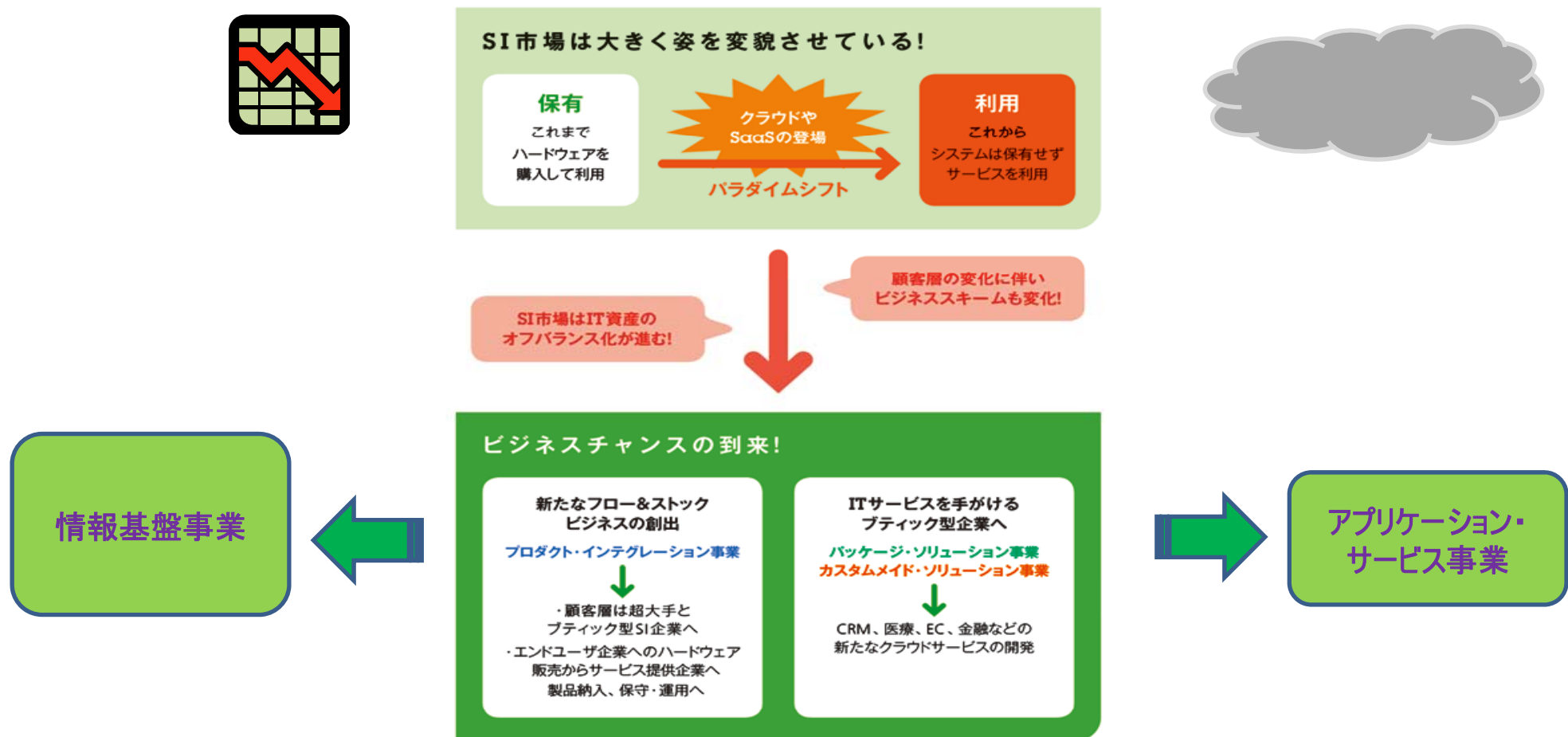
	2009年3月期 売上/営業利益	2010年3月期 売上/営業利益	2011年3月期 売上/営業利益
Q1	2,839/ 17	3,059/ ▲12	3,049/ ▲22
Q2	3,632/263	3,527/204	3,555/201
	6,472/281	6,586/192	6,605/178
Q3	3,015/ 46	3,206/ 9	3,341/75
Q4	3,950/412	4,455/544	5,256/413
通期	13,438/740	14,248/746	15,202/666

## セグメント別売上【連結】

- 情報基盤事業は製品販売が苦戦するもセキュリティ製品の販売が後半持ち直した。子会社は堅調に推移。
  - アプリケーション・サービス事業は継続取引先とのビジネスが一部縮小傾向。CRM分野は苦戦。ソフトウェア品費保証分野は好調。
- (単位:百万円)



# 業界環境の変化と当社の戦略

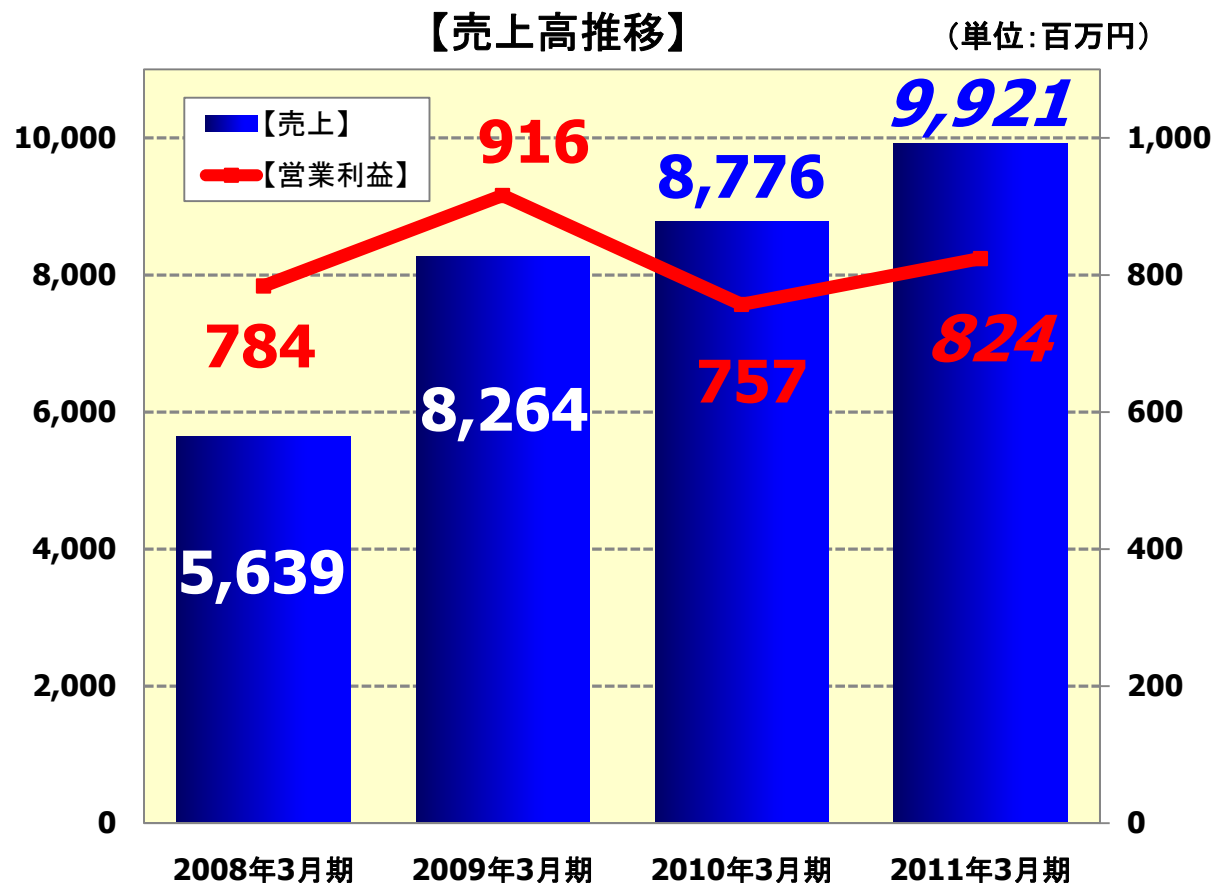


# 情報基盤事業

■ 2011年3月期の概況: 売上は9,921百万円(前年同期比 13.0%増)

## ■ハイライト

- 企業の設備投資意識に改善は見られず
- 主力の負荷分散装置を始め、製品販売やインテグレーションサービスが頭打ち
- 地方拠点では協業パートナーとの連携により官需の取り込みが奏功
- ワンタイムパスワード、統合ログ管理アプライアンス等のセキュリティ製品の引き合いが活発化
- クロス・ヘッド、沖縄クロス・ヘッドのネットワーク保守／運用／監視等請負業務は堅調に推移
- NCLCは製品販売が苦戦。クロス・ヘッドとの協業により、コスト低減・新規プロダクトの立ち上げに取り組む



# 沖縄クロス・ヘッドのクラウド事業の取り組み



**CUMO**  
Cloud gets U to Make Open platform

クラウド型HaaS(Hardware as a Service)「CUMO(キューモ)」  
クラウド型HaaSとは、高性能なコンピューターをユーザが購入することなく、ユーザー自身がインターネットを通じて利用できるようにするサービスです。新たなサービスの開発や事業拡大を行う際に、必要最低限の環境を即時に用意できるため、企業の成長に併せたサービスを提供することが可能になります。

GIX: 国際間インターネット相互接続ポイント



沖縄 - 香港直結  
低価格・高速 光回線

GIX: Global Internet Exchange

**Web Mail**  
**サイボウズ Office for SaaS**  
**サイボウズ デヂェ for SaaS**



# アプリケーション・サービス事業

■2011年3月期の概況:売上は5,280百万円(前年同期比 3.5%減)

【売上高推移】

(単位:百万円)

■ハイライト

●インターネットサービス分野

- ・継続取引先とのビジネスが一部縮小傾向
- ・新規受託開発案件の受注が苦戦
- ・カサレアルの教育事業は景気の後退をうけて苦戦

●金融分野

- ・大型案件の受注で売上が増加、一方で採算面が苦戦

●ソフトウェア品質保証分野

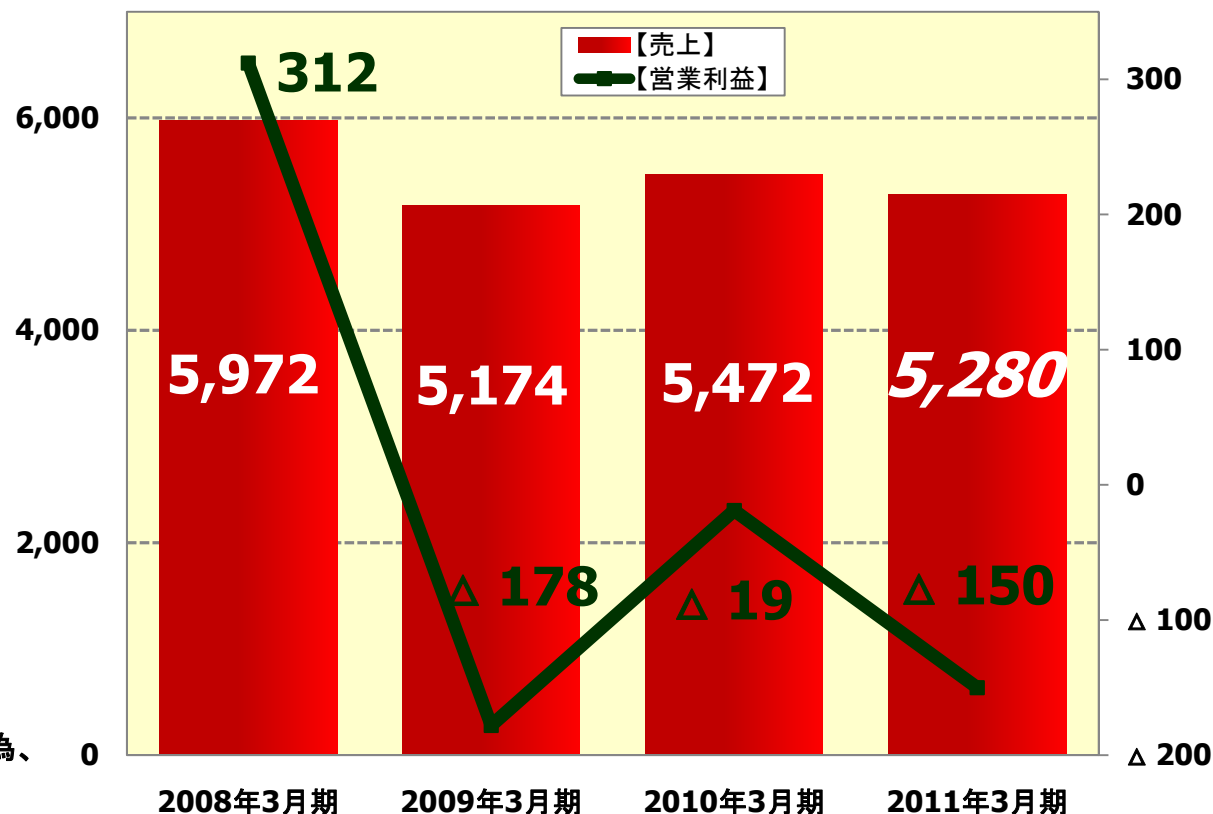
- ・組み込みソフトウェア領域が堅調
- ・アーキテクチャ分析系も黒字が定着
- ・エンタプライズ系のQ4の追い込みが後押し、数字に貢献!

●医療分野

- ・競合他社との熾烈な競争が継続。売上・採算面は改善
- ・震災の影響で、納品に一部影響
- ・地方拠点が貢献

●CRM分野

- ・SaaSサービスが想定以上に増加し、売上が繰延べられる為、売上・採算面で苦戦



# 代表的な受注案件(医療)

(色つきが下期受注分)

北海道・東北	ながお内科循環器クリニック、本間病院、常磐病院
関東	日本歯科大学附属病院、筑波学園病院、 牛久愛和総合病院、永生病院、生協戸塚病院
北陸・東海	東海病院、フジ高砂クリニック、常滑市民病院
近畿・中国	淀川キリスト教病院、咲花病院、公立邑智病院、山本整形外科病院、松江生協病院、サカ緑井病院、財団法人島根県環境保健公社
四国・九州	熊本南病院、佐藤第一病院、大牟田記念病院、 建悠会 吉田病院

# 代表的な受注案件(CRM)

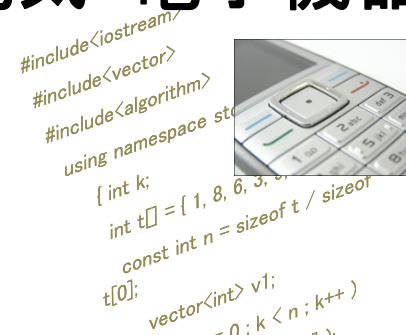
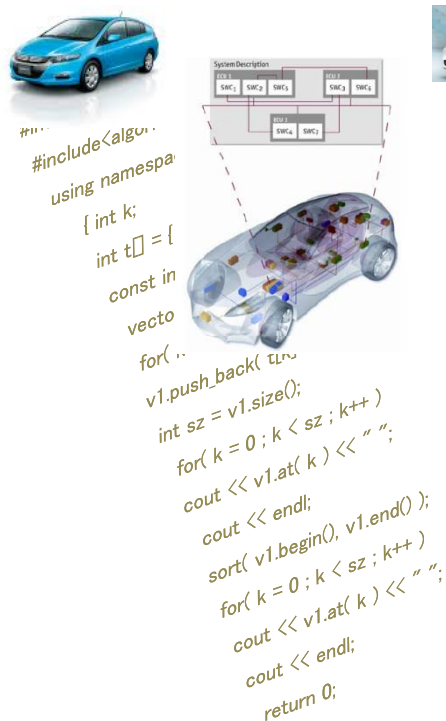
(背景色つきが下期受注分)

客先名	補足
某製薬会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某証券会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某保険会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某食品会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某小売会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某製薬会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某製薬会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某小売会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某ISP 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某IT会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某保険会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築
某製薬会社 様	カスタマーサービスセンターシステム構築

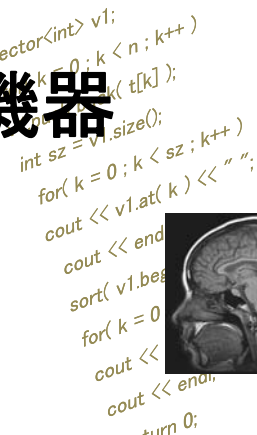
# 組込みソフトウェア開発における「機能安全規格」

自動車、航空機、医療機器、電子機器は人命にかかわる機器であり、ハードウェアとソフトウェアで構成されています。システムとして安全に動作するためにソフトウェアの役割はより大きくなっています。ソフトウェアの品質は重要なテーマです。

## ■ISO 26262 自動車 ■IEC61508 電気・電子機器関連



## ■IEC 62304 医療機器



参考:

ISO: International Organization for Standardization 国際標準機構 : 電気及び電子技術を除くすべて産業分野対象

IEC: International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議 : 電気及び電子技術分野の国際規格

# 震災対応と復興支援について

お客様対応	事業部においての顧客対応窓口の開設及びサポート(HP/電話) ホームページでの情報更新(随時)ー対応に変更がある場合	
当社としての取り組み	節電対策	サーバ、OA機器、空調等の節制利用 執務室エリアの節制利用 執務時間の効率的な労働方法の活用
	環境の整備	BCP策定(継続中) 地方拠点の活用や一部機能の移転(検討中) 一部サーバー等の移設(検討中)
	その他	当社及び関連企業からの義援金の寄付 被災地へのボランティア活動

# 損益計算書(P/L)【連結】

- 決算年度の統一を図り、子会社3社の15カ月決算を取り込む
- 特別損失として投資有価証券評価損を計上(Q3)

(単位:百万円)

決算年月	2010年3月期	2011年3月期	増減
売上高	14,248	15,202	6.7%
売上総利益	4,785	5,038	5.3%
利益率	33.6%	33.1%	—
営業利益	746	666	△10.7%
利益率	5.2%	4.4%	—
経常利益	786	679	△13.7%
利益率	5.5%	4.5%	—
四半期(当期)純利益	336	186	△44.6%
利益率	2.4%	1.2%	—

# 貸借対照表(B/S)【連結】

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期		2010年3月期	2011年3月期
<b>流動資産</b>	<b>8,620</b>	<b>7,879</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,803</b>	<b>4,981</b>
現金・預金	2,821	2,901	買掛金	1,335	1,072
受取手形・売掛金	3,927	3,228	借入金・社債	494	458
その他流動資産	1,871	1,749	その他流動負債	3,973	3,451
<b>固定資産</b>	<b>3,054</b>	<b>3,054</b>	<b>固定負債</b>	<b>786</b>	<b>791</b>
有形固定資産	297	352	<b>負債合計</b>	<b>6,590</b>	<b>5,773</b>
のれん	853	836	株主資本	4,760	4,796
その他無形固定資産	687	734	その他の包括利益累計額合計	4	△19
投資等	1,217	1,130	新株予約権	12	12
<b>資産合計</b>	<b>11,675</b>	<b>10,934</b>	少数株主持分	307	372
			<b>純資産合計</b>	<b>5,084</b>	<b>5,161</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>11,675</b>	<b>10,934</b>

# キャッシュフロー(C/F)【連結】

(単位:百万円)

	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期
I 営業活動による キャッシュ・フロー	659	912	760
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△391	△393	△345
III 財務活動による キャッシュ・フロー	69	△93	△335
IV 現金及び現金同等物 の増加額	337	425	80
V 現金及び現金同等物 の期首残高	2,058	2,396	2,821
VI 現金及び現金同等物 の期末残高	2,396	2,821	2,901

# 2012年3月期(28期) 見通し

# 当社事業の状況と市場の変化

事業・サービス	市場動向
<b>情報基盤事業</b> ・ネットワーク・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"><li>・東日本大震災が経済の停滞に追い打ちをかけ、日本経済の先行きは不透明感が増す。一般企業のIT投資欲は抑制傾向が継続。但し、在宅勤務のニーズが高まり、リモートアクセス分野では需要増も</li><li>・「所有」から「利用」への加速的变化により、クラウド・ビジネスを提供する事業者のIT投資欲は増加する可能性が見込まれる</li></ul>
<b>アプリケーション・サービス事業</b> ・インターネットサービス ・金融 ・ソフトウェア品質保証 ・医療 ・CRM	<ul style="list-style-type: none"><li>・IT予算の削減や案件の小規模化が進み、新規案件獲得は他社との競争が激化</li><li>・組込ソフトウェアの品質向上・機能安全が浸透</li><li>・医用画像システムの新規導入に加えて、更新需要が増加</li><li>・コンタクトセンターでのSaaSサービス導入が加速</li></ul>

# 2012年3月期（28期）計画

- 当社、各連結子会社ともに増収を見込む(下記注を参照)・・・実質増収増益
- 全ての連結子会社が黒字化へ

	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増減
売上	15,202	14,700	△3.3%
営業利益	666	880	32.1%
利益率	4.4%	6.0%	-
経常利益	679	880	29.6%
利益率	4.5%	6.0%	-
当期純利益	186	400	114.8%
利益率	1.2%	2.7%	-

(単位:百万円)

注:2011年3月期は、連結子会社3社が15ヶ月分の変則決算を行っています。2012年3月期は、12ヶ月決算。

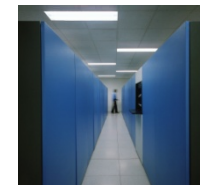
## 各セグメント別売上・営業利益見通し【連結】

	売上			営業利益		
	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増減	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増減
情報基盤事業 ・ネットワーク/ セキュリティ	9,921	9,300	△6.3%	824	750	△9.1%
アプリケーション・ サービス事業 ・インターネットサービス ・金融 ・ソフトウェア品質保証 ・医療 ・CRM	5,280	5,400	2.3%	△150	130	—
全社	15,202	14,700	△3.3%	666	880	32.1%

# 28期計画の主要コンセプト



- 増収・増益基調への挑戦(震災後の停滞からの復活)
- クラウド関連事業の全社レベルでの推進
- グループ総合力をより一層強化(グループ内機能による自活)
- 組込みソフトウェア分野への深耕
- 公共・文教・自治体ビジネスの継続的取り込み
- 継続的なM&Aの実施
- 連結子会社5社の全黒字化



本日はご清聴いただき  
誠にありがとうございました。

＜お問合せ先＞  
テクマトリックス株式会社  
企画部 経営企画課  
TEL:03-5792-8601  
[ir@techmatrix.co.jp](mailto:ir@techmatrix.co.jp)